

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 未来戦略創出会議(第10回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和3年1月26日(火) 14時00分～15時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はビデオ通話にて出席
議題		(1) 令和3年度当初予算について ① 令和3年度予算の特徴 ② 令和3年度新規・拡充事業 ③ 令和2年度に見直し候補とした施設建設事業等の予算措置状況 (2) 令和2年度豊島区補正予算(案)について (3) 令和3年第1回定例会提出予定案件について
公開の 可否	会議	☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長(欠席)・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	企画課長、施設計画担当課長、財政課長、総務部長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和 3 年度当初予算について

幹事 資料に基づき、令和3年度予算の特徴について説明。

令和3年度当初予算の一般会計の予算規模は、令和2年度当初予算と比較して、19億3,400万円、率にして1.5%増の1,302億2,700万円を計上している。3つの特別会計についてはいずれも減少しており、合計で22億9,600万円、4.0%の減となっている。こうしたことから、全会計を合わせた令和3年度の当初予算規模は、令和2年度と比較して3億6,300万円、0.2%の減となっている。

詳細については、一般会計を中心に説明する。繰り返しになるが、令和3年度の当初予算は1,302億2,700万円となり、令和元年度当初予算に次いで過去二番目に大きい予算規模となっている。経費別にみていくと、人件費は6億3,800万円、2.5%減、事業費は17億8,100万円、2.1%増となっている。投資的経費は7億9,000万円、4.8%増となっているが、令和3年度は南池袋二丁目C地区をはじめとする市街地再開発事業が3本あり、これが主な増要因となっている。

続いて一般財源の構成について説明する。まず主要歳入についてだが、特別区税のうち、区民税については17億4,300万円、5.6%の減、財政調整交付金については36億円、11.3%の減、地方消費税交付金については、12億5,500万円、16.2%の減となっている。これら3つの三大基幹歳入を合わせると、66億円、9.4%の大幅減となっている。令和3年度当初予算では、これら基幹歳入の減収分を賄うために、財政調整基金を69億2,600万円取り崩して一般財源として繰り入れている。平成26年度以降、7年連続で財政調整基金を取り崩さずに当初予算を編成してきたが、令和3年度当初予算では8年ぶりに取り崩し、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした区民の生活を支えるために必要な財源を確保している点が特徴である。特定財源では、特別区債を5億7,600万円、11.4%増となる56億2,200万円を計上している。今申し上げたとおり、財政調整基金を大幅に取り崩すとともに、起債額を増やすことにより、令和3年度末起債残高は318億9,800万円、基金残高は264億1,200万円と見込んでいる。これにより、所謂貯金と借金のバランスは、平成27年度以降6年連続で貯金超過を維持してきたが、令和3年度末には7年ぶりに借金超過になると現時点では見込んでいる。また、財政調整基金の残高も150億円台になるものと見込んでいる。なお、基金残高や起債残高については、令和2年度の決算剰余金の額や来年の補正予算の内容、事業進捗等の状況によって数値は随時大きく変動することをご留意いただきたい。

幹事 資料に基づき、令和 3 年度新規・拡充事業について説明する。

全体の概要についてだが、令和 3 年度の新規・拡充事業は、221 事業、約 198 億 4,000 万円である。特徴としては、一般事業が前年度の 44 億 9,600 万円から令和 3 年度は 26 億 1,000 万円と 40%を超える大幅な減少となっている。これは、今後の厳しい財政状況を踏まえて、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済対策に関する事業を優先して重点的に採択したことによるものである。政策別にみると、新規事業で最も大きな額となっているのが商工・観光の分野である。具体的には、中小企業に対する無利子の融

資の継続やプレミアム付き商品券事業、キャッシュレス事業など、商店街への支援を行う事業が主な内容である。次に大きな額となっているのが、健康・保健の分野である。具体的には、PCR 検査の継続等の感染対策に関する事業が主な内容である。

幹事 資料に基づき、令和 2 年度に見直し候補とした施設建設事業等の予算措置状況について説明する。

昨年 7 月 15 日の議員協議会で投資的経費の見直しについて報告した。こちらの資料は、その際に見直し候補となった事業が令和 3 年度予算でどうなったかをまとめた資料である。見直しの対象とした事業は総数で 49 事業あり、そのうち令和 3 年度に実施する事業は 30 事業、令和 4 年度以降の実施を検討する事業が 17 事業、残りの 2 事業は令和 2 年度に実施済みのものが 1 事業、中止した事業が 1 事業である。各事業の詳細については資料をご覧ください。

⇒提案のとおり、決定する。

(2) 令和 2 年度豊島区補正予算(案)について

幹事 資料に基づき、令和2年度豊島区補正予算(案)について説明。

今回の一般会計補正予算は、第7号補正である。補正予算総額は9億4,475万円であり、これにより令和2年度の予算現計は合計で1,636億3,943万円となる。繰越明許費は10件を計上している。また、債務負担行為の上限額変更を行う。詳細は資料をご覧ください。

⇒提案のとおり決定する。

(3) 令和 3 年度第 1 回定例会提出予定案件について

説明者 資料に基づき、令和 3 年度第 1 回定例会提出予定案件について説明する。

⇒提案のとおり決定する。

会議の結果	(1) 令和 3 年度当初予算について (2) 令和 2 年度豊島区補正予算 (案) について (3) 令和 3 年度第 1 回定例会提出予定案件について → (1) ～ (3) について決定。
-------	--

提出された資料等	・令和3年度予算の特徴 ・令和3年度 新規・拡充事業 政策別一覧 ・令和2年度に見直し候補とした施設建設事業等の予算措置状況 ・令和2年度 豊島区一般会計補正予算(第 7 号) (案) ・令和3年第 1 回豊島区議会定例会提出予定案件
----------	---